

表紙

全国特別支援学校
文化祭受賞作品

リそなグループでは、1994年より、全国の特別支援学校の児童・生徒の文化活動の充実と向上を図ることを目的に全国特別支援学校文化連盟の活動を支援しています。



全国文化連盟会員賞
「うさぎドロップ」



リそな銀行賞
「ジャヘンプ」



リそな銀行賞
「逆さ富士」



リそな銀行賞
「スキスキライン」

名称 株式会社 **リそなホールディングス**
(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号
電話(03)6704-3111(代表)

大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号
電話(06)6268-7400(代表)

この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。



適切に管理された森林からの木材製品であることを証明する、FSC® 森林認証紙を使用しています。

揮発性有機化合物(VOC)を含まない植物油100%のNon-VOCインキを使用しています。

証券コード 8308

リそな Today



第13期リそなグループ 報告書 (2013年4月1日~2014年3月31日)

INDEX

| | | |
|-----------------|---------------------------------|------------------|
| 経営理念 ……………2 | “リそな”だからできること ……………2 | 財務諸表(連結) ……………22 |
| ごあいさつ ……………3 | 24時間365日「いつでもどこでも」便利を実現 ……………14 | 3行の概況 / ……………24 |
| 経営方針／資本政策 ……4 | “楽しい”“役に立つ”“便利な”Webサービスの開始 ……16 | 株式の状況 |
| リそなグループの業績 ……10 | お客さまのライフイベントに応じた商品をご提供 ……17 | 株式事務のご案内 / ……26 |
| | 中小企業の成長をあらゆる面からサポート ……18 | 個人情報のお取り扱い |
| | 持続可能な社会づくりへの貢献 ……20 | |



株式会社 **リそなホールディングス**

りそなグループ経営理念

りそなグループは、創造性に富んだ
金融サービス企業を目指し、

お客様の信頼に応えます。

変革に挑戦します。

透明な経営に努めます。

地域社会とともに発展します。

りそなWAY

(りそなグループ行動宣言)

お客さま

「りそな」は
お客さまとの
信頼関係を
大切にします

株主

「りそな」は
株主との
関係を
大切にします

社会

「りそな」は
社会との
つながりを
大切にします

従業員

「りそな」は
従業員の
人間性を
大切にします

ごあいさつ

「お客さまの喜びがりそなの喜び」である
という基本的な考え方のもと、
「新しい金融サービス業」の
ビジネスモデルを構築してまいります。

皆さまには、日頃よりりそなグループをお引き立
ていただきまして誠にありがとうございます。

2013年度の日本経済は、金融緩和による円高是
正や経済政策の効果等により、資産価格の上昇が
見られ、底堅い雇用・所得環境の下、消費者心理が
改善しました。また、企業業績も改善し、設備投資に
増加の兆しが見られるなど、総じて回復基調で推移
しました。

こうした環境下、2013年度のりそなホールディ
ングス連結当期純利益は、昨年11月にお示した
業績予想を356億円上回る2,206億円となりました。
これは、金融商品販売が好調であったことに加え、
お取引先企業の業況改善が進み、与信費用が
戻り益となったことなどによるものです。また、不良
債権比率は1.74%と前年比0.31ポイント改善する
など、健全な財務体質を維持しております。

2013年度は、引き続きサービスの向上に取り組
みました。例えば、税制改正により昨年4月から取扱
いを開始した信託銀行ならではの商品「きょういく
信託」は、受託件数が1万件を超えるヒット商品とな
りました。「少額投資非課税制度」(NISA)に適した

株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長

東 和浩



投資信託商品や団体信用生命保険の保障範囲を
拡大した住宅ローン「団信革命」など、商品ライン
ナップの強化に加え、休日営業のローンプラザや
365日営業の「セブンデイズプラザ」・「nanoka」の
展開など、個人のお客さまとの接点の拡大にも努
めております。法人のお客さま向けには、各種貸出
ファンドの取扱や、事業承継ソリューションのご提
供、海外進出支援、ビジネスマッチングによる事業
機会のご提供など、サポート体制の強化に取り組み
ました。

公的資金につきましては、昨年5月に公表した
『公的資金完済プラン』に基づき、2013年度中に
5,156億円(注入額ベース)を返済しました。本年6
月に320億円(注入額ベース)を返済し、残存額は
3,240億円と、ピーク時の約10分の1の水準まで
減少いたしました。

これからも透明性の高い経営を継続し、地域経
済の発展に貢献してまいります。今後とも皆さま方
の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

2014年6月



Q. 経営方針とその具体的な取り組みは？



「りそなイズム」の承継と深化 「新しい金融サービス業としての ビジネスモデルの構築」 「グループ連結運営のさらなる進化」の 3つを柱に改革を継続しています。

「りそなイズム」の承継と深化 ～17時まで営業、年中無休店舗 といった銀行の常識を変える改革～

りそなグループはこれまで、「待ち時間ゼロ運動」や「17時まで営業」、そして「365日年中無休店舗の開設」など、銀行の常識を変える様々な改革に取り組んできました。私たちは、その精神である「りそなイズム」を承継し、さらに「深化」させることが重要だと考えています。常にお客さま目線に立ちながら、お客さまのニーズにスピーディーに対応していく企業活動を実践していくことで、新しい金融サービス業としてのビジネスモデルを構築し、お客さまや社会から必要とされる存在となれるよう、改革を継続してまいります。

〈りそなの「サービス改革」の取り組み〉

| | |
|-----------------------|--------------|
| 平日17時まで営業 | 待ち時間ゼロ |
| 次世代型店舗 | 休日営業 |
| 24時間対応テレフォンセンター | 365日営業の新チャネル |
| 女性の積極登用を通じたホスピタリティの向上 | |



'03年 待ち時間ゼロ運動



'04年 店舗改革

新しい金融サービス業としてのビジネスモデルの構築 ～オムニチャネル化の推進～

お客さまの様々なライフスタイルに対応するため、新しいコンセプトの店舗の展開、インターネットバンキングの強化を進めています。
4月1日から、新しいWebコミュニケーションサービス「マイゲート」をスタート、また、平日に銀行へいらっしゃる時間がない方のために、住宅ローン専門拠点の休日営業拡大や、土・日・祝日もオープンしている店舗の展開など、お客さまにとってより便利なサービス、店舗の充実を図っています。
さらに今後、店舗とインターネット・チャネルをシームレスに融合する、いわゆる「オムニチャネル化」を進めてまいります。

詳しくは P.14～16へ



グループ連結運営のさらなる進化 ～信託・不動産を強みとするハイブリッドな金融機関～

りそなグループは、商業銀行業務・信託銀行業務・不動産業務を三本の柱とする、他に例を見ないハイブリッドな金融機関です。この強みを最大限発揮するためにも、各銀行の営業社員一人ひとりが、この信託・不動産業務を身につけ、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

グループ構成



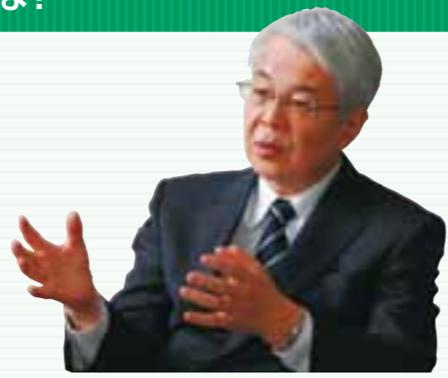
商業銀行が信託機能を持つ強み

| | |
|---|---|
| 商業銀行のリテール基盤 約1,300万の個人稼働顧客 約9万の法人貸出先 592の有人店舗 | フルラインの信託機能 相続・事業承継 不動産仲介 遺言信託 企業年金 |
|---|---|

経営方針
資本政策



Q. 経営戦略とその具体的な取り組みは?



「経営の健全化のための計画」を貫く力点として、経営改革のACL

A:「オールりそな」の発揮

C:「クロスセールス」の徹底

L:「ローコストオペレーション」の推進に継続して取り組んでいます。

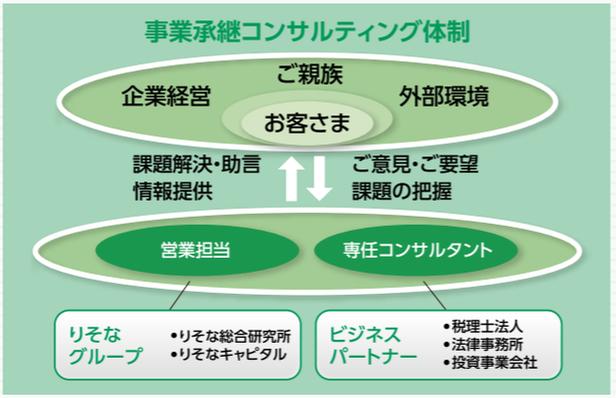
「オールりそな」の発揮

～コンサルティングや海外進出支援等で最適なソリューションを提供～

りそなグループは、お客さまの事業の発展に応じて生じる様々なニーズに的確にお応えするべく、グループ各銀行の営業店と本部およびグループ各社が協働し、お客さまに最適なソリューションを提供しております。例えば、中小企業の経営者の方々が抱えている事業承継に係わる経営課題に対して、コンサルティングを実施することで、経営者の方々のお悩みにお応えしております。

また、海外に進出されるお客さまには、りそなの海外拠点、提携銀行が一体となって、サポートに取り組んでいます。

中小企業支援について
詳しくは P.18・19へ



アジアにおける有力金融機関との近年の業務提携例



フィリピン・リサール商業銀行 (2012年3月)



マレーシア・パブリック銀行 (2013年5月)

「クロスセールス」の徹底 ～ライフプランに合わせたご提案～

りそなグループでは、年間約4万先に新規で住宅ローンをご利用いただいております。住宅ローンご利用先数は約56万先に及びます。新規のお借入時は、例えば家計見直しの一環として家計支出の大きな部分を占める保険の見直しをご提案するなど、ライフステージに応じたクロスセールスを実施しております。

また、遺言信託を受託したお客さまから、不動産の有効活用のご相談やマンションローンのお申込みを承るなど、クロスセールスによって、永年に渡るお取引の機会が創出されています。

「住宅ローンを切り口にしたクロスセーラスの展開」

幅広い世代にわたる住宅ローン

クロスセーラスの推進

- 遺言信託
- 保障性保険
- リフォームローン
- 消費性ローン
- 金融商品販売

超高齢社会の到来 環境意識の高まり ライフプラン多様化



超高齢社会の到来で、承継信託機能の活用件数が伸びています。税制改正により、昨年4月から取り扱いを開始しました「きょういく信託」は、今年2月の時点で1万件を超える受託実績となりました。受託先の約3割が新規のお客さまであり、その他のお取引の拡大にもつながっています。

個人向け商品について
詳しくは P.17へ

「ローコストオペレーション」の推進

～利便性・安全性の向上とローコスト運営の両立～

りそなグループでは、クイックナビの導入などオペレーション改革によって、お客さまサービスと生産性を同時に向上させる店頭改革を実現しました。また、印鑑レス・ペーパーレス型の窓口お取引を可能とするコミュニケーション端末を全店に設置して、お客さまの利便性やお取引の安全性とローコスト運営を両立し、競争力のさらなる向上に取り組んでいます。



クイックナビ

税金、振込、振替などを窓口専用ATMで承ります。書類のご記入が不要となり、スピーディーなお手続きが可能になりました。(りそな銀行、埼玉りそな銀行)
※一部店舗では未導入。
※クイックナビは特許を取得しています。



コミュニケーション端末

生体認証ICキャッシュカードとタッチパネルの利用で従来より「安心」「便利」に。通帳・印鑑のご持参や面倒な書類記入が不要になりました。
※2014年6月までにグループ銀行の全店に導入予定。



Q. 公的資金完済プランの進捗状況は？



昨年5月に公表しました「**公的資金完済プラン**」に基づき、本年6月現在の残存額は**3,240億円**と、ピーク時の**約10分の1**の水準まで減少しました。

公的資金完済プラン

～「公的資金の完済」と「普通株主価値の向上」の両立を目指して～

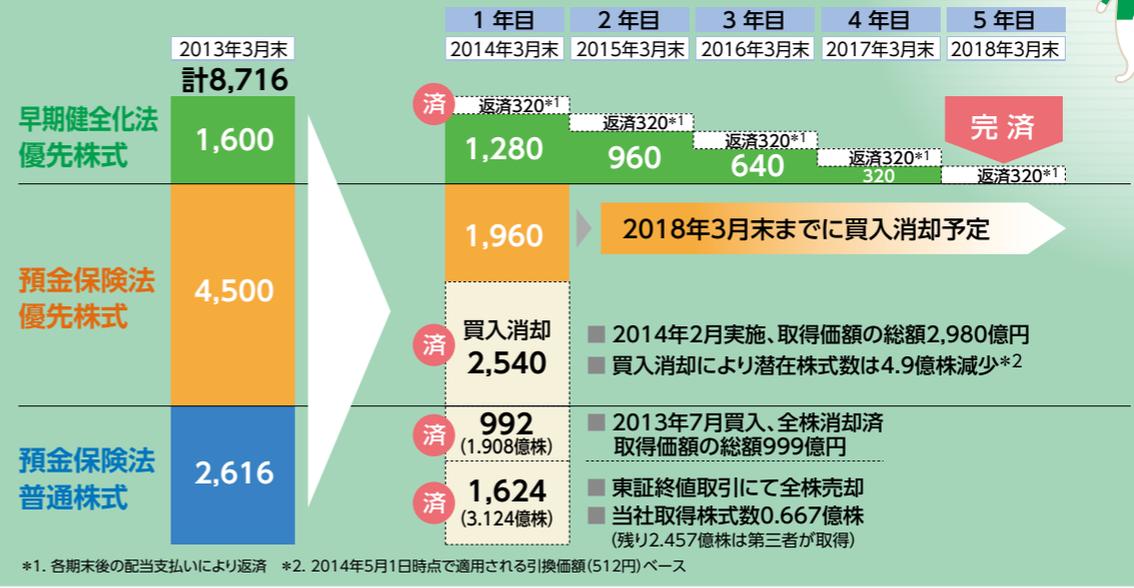
公的資金の返済については、「早期健全化法優先株式」を毎年度320億円返済する方針とし、「預金保険法優先株式」は買入消却を通じて2018年3月末までに完済する方針ですが、可能な限り早期返済に努めてまいります。公的資金の完済と普通株主価値の向上を両立させ、全ての株主の皆さまのご期待にお応えできることを目指しております。



公的資金残高
3兆1,280億円
(2003年9月末)



公的資金残高の推移(イメージ)



当初プランの概要 (2013年5月発表) *赤字は進捗のあった項目

| | |
|-----------------------|--|
| 早期健全化法優先株式 1,600億円 | 普通株式の市場価格変動に影響を受けることなく完済 ■ 普通株式への一斉転換日を延長し、5年程度で分割返済 ■ 2014年3月期末分から特別優先配当を通じ、毎年度320億円返済 |
| 預金保険法優先株式 4,500億円 | 従来方針通り買入消却を進め潜在株式を解消 ■ 2014年3月期中に一部買入消却 (取得額ベース上限3,000億円) ■ 残存部分も2018年3月末までを目処に買入消却を通じ完済する方針 |
| 預金保険法普通株式 2,616億円 | 処分の方向性を明らかにすることで株式需給の不確実性を払拭 ■ 2014年3月期中に一部買入消却 (取得額ベース上限1,000億円) ■ 残存部分は上記終了後、速やかに預金保険機構に対して処分の申出を行うことを予定 |
| 株主さまへの利益還元 | ■ 預金保険法普通株式の一部買入消却 (取得額ベース上限1,000億円) ■ 2014年3月期末分から普通株式の年間配当を25%増配 (1株あたり12円から15円に増配) |
| その他 | ■ 普通株式の授権枠の削減 ■ 資本勘定内の振替による公的資金の返済財源の確保 |

当面は、普通株式等 Tier1 比率 5.5%程度、Tier1 比率 7.0%程度を上回る自己資本比率を確保 (パーゼル3・国際統一基準)



◆ りそなグループの業績 2014年3月期 ※金額については単位未満を切捨て表示しております。

連結当期純利益は、**2,206億円**となりました。

りそなグループ連結の当期純利益は前期比544億円の減益となりましたが、前期の税金費用の特殊要因(+901億円)を含まない税金等調整前当期純利益では277億円の増益となっております。

損益の状況 (りそなホールディングス連結) (単位：億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 前期比 |
|-------------|----------|----------|----------------|------|
| 連結粗利益 | 6,552 | 6,371 | 6,085 | △286 |
| 資金利益*1 | 4,639 | 4,430 | 4,300 | △130 |
| 信託報酬 | 234 | 216 | 237 | +21 |
| 役員取引等利益*2 | 1,196 | 1,289 | 1,350 | +60 |
| その他業務粗利益 | 480 | 434 | 197 | △237 |
| 営業経費 | △3,609 | △3,616 | △ 3,484 | +131 |
| 株式等関係損益 | 23 | △75 | 226 | +301 |
| 与信費用*3 | △138 | 130 | 264 | +134 |
| その他損益等 | △95 | 32 | 29 | △3 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,732 | 2,843 | 3,120 | +277 |
| 税金費用ほか | △196 | △92 | △ 914 | △822 |
| 当期純利益 | 2,536 | 2,751 | 2,206 | △544 |

連結粗利益は、利回りの低下を主因として資金利益が減少するなか、金融商品販売などにより、利益の確保に努めました。

株式等関係損益は、前期比減損が大幅に減少したこと、および保有株式の売却益の計上などにより、増益となりました。

与信費用は、新規発生が低水準であったことに加え、一般貸倒引当金が戻入となったことなどから、前期比134億円改善いたしました。

税金費用は、前期の税効果会計に係る会社例示区分見直し影響の剥落などにより増加しました。

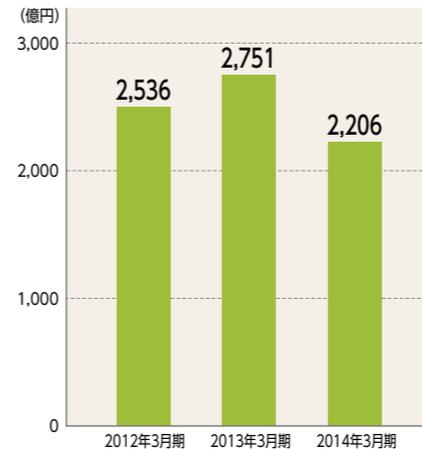
用語解説

- *1 資金利益 貸出や有価証券運用などによる収入から、預金利息などの費用を差し引いた収支のことです。
- *2 役員取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。
- *3 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- *4 営業経費率 連結粗利益に占める営業経費の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

連結粗利益



当期純利益



営業経費



普通株式 1株当たり年間配当金





りそなグループの業績 2014年3月期

資産・負債の状況

貸出金残高は増加基調が継続、自己資本比率は**14%台**と十分な水準を維持しています。

貸出金残高(傘下銀行合算)

貸出金末残は、前期比で約1.1%の増加となりました。



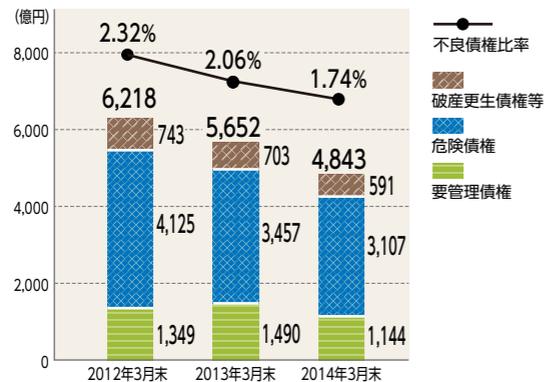
預金残高(傘下銀行合算)

預金は、増加のトレンドを維持しています。



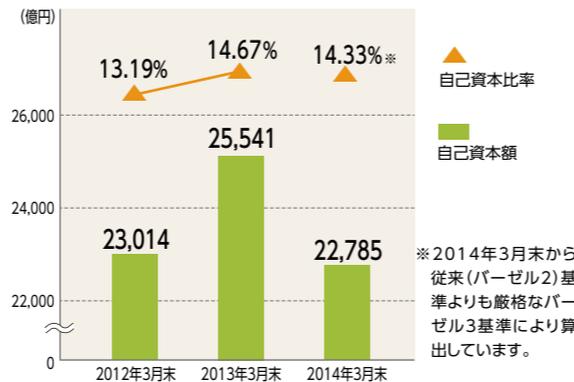
不良債権および不良債権比率(傘下銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.74%に低下しました。



自己資本比率(連結)

自己資本比率は14.33%(速報値)と十分な水準を維持しています。2014年3月期の自己資本額減少は、主に公的資金の一部返済によるものです。



主要ビジネス

個人のお客さまの生活設計サポート、法人のお客さまの経営課題解決に「オールりそな」で取り組んでいます。

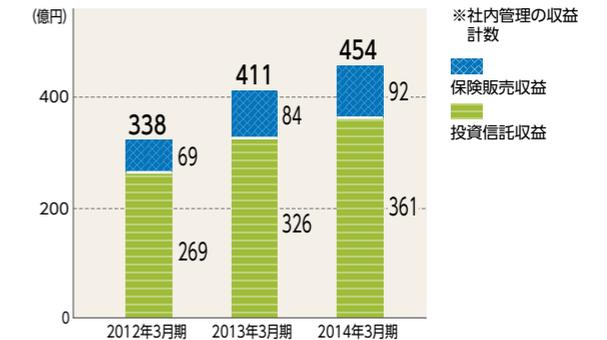
住宅ローン(傘下銀行合算)

住宅ローン専門拠点の休日営業拡大などにより、住宅ローン残高は順調に増加しました。



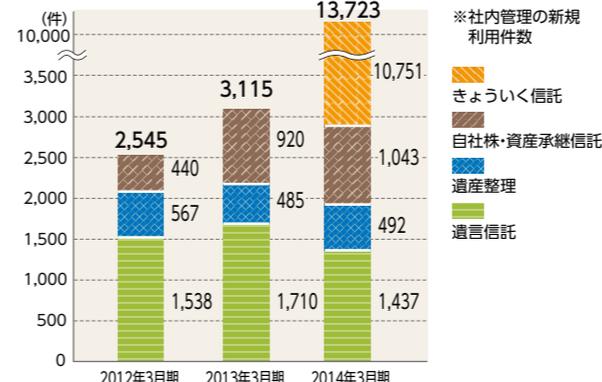
金融商品販売(傘下銀行合算)

良好な市場環境を受け、投資信託収益(販売手数料と信託報酬)と保険販売収益がともに増加しました。



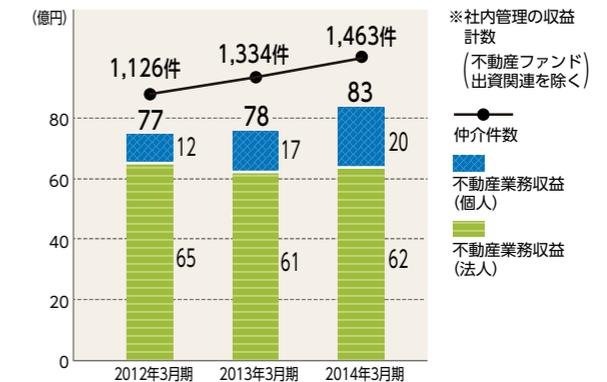
資産承継ビジネス(りそな銀行)

「きょういく信託」の利用件数は、2013年4月の取扱開始からの1年間で1万件を超えました。



不動産業務(りそな銀行)

幅広い店舗ネットワーク、お客さま基盤を活かした不動産情報の収集に努め、仲介件数、手数料が増加しました。



りそなグループの業績



◆ 24時間365日「いつでもどこでも」便利を実現

お客さまの利便性を追求し、営業時間を拡大。年中無休の店舗も続々登場しています。

インターネットバンキングやテレホンバンキングで24時間365日、各種お取引きやご相談をお受けしています。

年中無休 (365日)
19時まで営業
年中無休の店舗でじっくりご相談いただけます。
(事前予約制)



平日17時まで営業
りそな銀行、埼玉りそな銀行は平日17時まで営業しています。

週7日
平日19時
土日祝17時まで営業※
※年末年始、GWは除きます。



近畿大阪銀行 うめだプラザnanoka



Webコミュニケーションサービス「マイゲート」

24時間365日



24時間365日受付
※近畿大阪銀行は受付時間が異なります。

コミュニケーションダイヤル

2014年4月セブンデイズプラザ2店舗がオープン!

りそな銀行 住宅ローンと保険・運用の専門プラザ
セブンデイズプラザ2号店登場!
セブンデイズプラザあべのハルカス
あべのハルカスローンプラザ
・年中無休※ ・19時まで営業
※あべのハルカス休館日は除きます。

埼玉りそな銀行 いつでも役立つ暮らしのコンサルティング拠点
セブンデイズプラザおおみや登場!
大宮支店
大宮住宅ローンご相談プラザ
・年中無休※
・17時まで営業
※年末年始、GWは除きます。




住宅ローン専門拠点の休日営業を拡大しています。

3行合計82カ所の拠点中、71カ所で休日営業を実施しています。

休日営業拠点は2年間で、**5倍以上**に増加しました。

| 年月 | 住宅ローン専門拠点数 | 休日営業拠点数 |
|---------|------------|---------|
| 2012年3月 | 72 | 13 |
| 2014年4月 | 82 | 71 |

ATMネットワーク
(2014年3月末現在)
りそなグループのATM
(サークルK、サンクスにあるバンクタイムを含む)

8,040台

提携コンビニATM
42,669台

インターネットバンキング

インターネットバンキングご契約者数

5年間で約**1.8倍**に増加しました。

| 年月 | 契約者数 (千人) |
|---------|-----------|
| 2009年3月 | 2,262 |
| 2014年3月 | 4,129 |



◆ “楽しい” “役に立つ” “便利な” Webサービスの開始

「りそなダイレクト」「近畿大阪ダイレクト」がさらに進化して

新しいWeb
コミュニケーションサービス
「マイゲート」に
生まれ変わりました。

Resona Group
my gate
Web コミュニケーション

NEW!

オトクな情報が満載!

お楽しみ・お役立ちコンテンツ

パーソナル機能



- ① 簡単! 便利! 残高入出金確認
- ① 入出金カレンダーで家計管理も!
- ① 投信・為替チャートで便利にチェック
- ① お役立ちコラム

安心・便利なお取引機能はそのまま!

インターネットバンキング(りそなダイレクト 近畿大阪ダイレクト)

お取引機能



- ① 振込等決済も簡単!
- ① 定期預金等運用取引も便利!
- ① 住宅ローンの繰上返済手数料もオトク!
- ① 高いセキュリティで安心・安全

さらに便利
になったとい
うことですね



24時間365日*
いつでも使える、
いつでもつながる。
もっと便利に
りそなを楽しもう。

*システムメンテナンスにより、
一部ご利用できない
時間帯がございます。

◆ お客様のライフイベントに応じた商品をご提供

りそなグループは、お客様のライフイベントに応じた最適なソリューションをご提案できるよう、様々な商品をご用意しています。

お客様のニーズに合わせた「独自のローン商品」

新しいタイプの住宅ローン

特定状態保障
特約付住宅ローン
団信革命

銀行初!3大疾病はもちろん、「16の特定状態」「所定の要介護状態」に該当する時も、ローン残高が0円に。



日照補償付住宅ローン
晴れたらいいね

- 太陽光発電システムを設置する戸建住宅が対象
- 日照補償(3年間)を付与

女性限定の
住宅ローン
凜next

4つの特典をパッケージ

- オリジナル金利
- ローン返済支援保険付き
- 繰上返済手数料無料
- 3大疾病保障特約(任意)

「未来に 安心をつなぐ」信託サービスをご提供

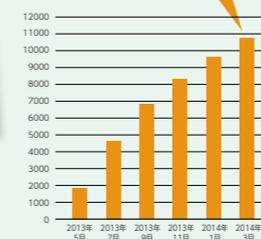
お孫さんの「夢のあとおし」を
お手伝い



きょういく信託

お孫さんへの教育資金贈与が
1,500万円まで非課税になります。

2013年4月の取扱開始以降、
ご利用件数が**10,000件**を
突破しました!



不安を安心にかえる
資産管理機能をご提供。



マイトラスト 未来安心図

将来の意思能力、身体機能の衰えに
備えることができます。

りそなグループ



◆ 中小企業の成長をあらゆる面からサポート

ビジネスマッチング

りそなグループの各銀行では、お客さまの「仕入・販売強化」、「生産・技術強化」、「物流効率化やIT化等によるコスト削減」、「事業多角化」等、様々な経営課題解決に際してのビジネスパートナーのご紹介を目的として、各種セミナー、商談会、展示会、モニター会の開催等、様々な機会のお場をご提供しています。

オープンイノベーションセミナー&個別商談会



りそなグループ
オープンイノベーションに積極的に取り組む大手メーカーと中堅・中小企業のマッチングによる新たな価値の創造を目指すイベントです。

ネットワーク商談会



**近畿大阪銀行
埼玉りそな銀行**
お取引先の新たな商流を創り出し、地域経済の活性化のお役に立つことを目的とした企画です。

農と食の展示・商談会



埼玉りそな銀行
埼玉県と連携して開催され、多様なジャンルのバイヤーから、新商品開発や新しい販売チャネルの開拓に役立つイベントです。

りそなDEモニター会



**りそな銀行
近畿大阪銀行**
日本一厳しいといわれる大阪の女性モニターの意見をお取引先の商品開発に生かしていただくイベントです。

中小企業の成長・再生を後押し

りそなグループの各銀行では、中小企業金融円滑化法の期限到来も踏まえ、お客さまの事業の成長および再生を後押しする専門組織を発足させました。多様化・高度化するお客さまのニーズを捉え、資金調達・販路開拓・事業承継等、最適なソリューション機能の提供を通じ、お客さまの事業の成長および再生を後押ししてまいります。



海外進出支援

海外進出の準備段階から、操業開始、その後の事業の発展・拡大も見つけ、りそなの海外拠点、提携銀行が一体となってお客さまのサポートに取り組んでいます。

りそなグループの海外駐在員事務所

お客さまのニーズに応じ、担当国・地域の現地情報をご提供しております。

〈担当国・地域〉

- **上海駐在員事務所** 上海、中国(華南以外)
- **香港駐在員事務所** 香港、中国(華南地域)、台湾
- **バンコック駐在員事務所** タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス
- **シンガポール駐在員事務所** シンガポール、マレーシア、インド、フィリピン

りそなプルダニア銀行

1958年に開業した日本とインドネシアの合併企業第1号です。

リース業務を行うりそな・インドネシア・ファイナンスとともに日本国内と同様の金融サービスをご提供いたします。



インドネシア
(りそなプルダニア銀行)
(りそなインドネシア・ファイナンス)

アジアにおける主な提携金融機関

有力金融機関との業務提携により万全のサポート体制を実現しています。

| 主な提携銀行 | 国・地域 | 特色 |
|---------|-----------------|--|
| 東亜銀行 | 中国 香港 | 香港最大の独立系地場銀行。中国本土でも外資系では最大のネットワーク。 |
| バンコック銀行 | タイ ベトナム | タイ最大の民間商業銀行。ジャパンデスクを配置し、多くの進出日系企業が同行と取引。 |
| パブリック銀行 | マレーシア ラオス・カンボジア | 資産規模でマレーシア第3位の民間商業銀行。カンボジア、ラオスにおいても強いプレゼンスを持つ。 |
| リサル商業銀行 | フィリピン | 民間ではフィリピン第4位の商業銀行。ジャパンデスクを配置し、多くの進出日系企業が同行と取引。 |



りそなグループ



◆ 持続可能な社会づくりへの貢献

りそなグループでは、従業員一人ひとりが日常業務を通じてCSR活動を実践している他、自発的なボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



りそなグループの従業員によるボランティア活動団体、「Re:Heart(リハート)倶楽部」では、全国で様々な活動を展開しています。

次世代育成のために



発達障がい児向け教育プログラムへの参加
(りそなカード)



「PICAメッセ大和郡山」への参加
(りそな銀行 奈良地域)



「子ども大学かわぐち」への協力
(埼玉りそな銀行 埼玉中央地域)



「いばらキッズタウン」への参加
(りそな銀行 大阪地域)

地域活性化のために



荒川の清掃活動への参加
(りそな銀行 首都圏地域)



「平野郷夏祭り」への参加
(近畿大阪銀行 大阪東・奈良地域)



「認知症サポーター養成講座」の開催
(埼玉りそな銀行 埼玉西地域)



「京都マラソン」運営ボランティアへの参加
(りそな銀行 京都・滋賀営業本部/近畿大阪銀行 大阪北・兵庫地域)

環境保全のために



府営泉佐野野丘緑地(仮称)公園づくり活動への参加
(りそな銀行 大阪地域)



「埼玉りそなの森」づくり活動
(埼玉りそな銀行 埼玉北地域)



「近畿大阪銀行の森づくり」活動
(近畿大阪銀行)



「りそなの絆」被災地植樹プロジェクト
(りそなグループ)

りそな キッズマネーアカデミー

2005年にスタートした「りそなキッズマネーアカデミー」は今年で10年目を迎えます。低学年向けカリキュラムの開発や、様々な企業・団体とのコラボレーションの展開など、社員自らが工夫を凝らし進化し続けています。



エコノミクス甲子園

NPO法人金融知力普及協会と共働、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」地方大会を開催しました。2013年には3大会合わせて152名の高校生が全国大会目指して金融知力を競いました。



東京大会(主催:りそな銀行)



埼玉大会(主催:埼玉りそな銀行)



大阪大会(主催:近畿大阪銀行/りそな銀行)

りそなグループ



財務諸表 | 連結

*金額については単位未満を切捨て表示しております

連結貸借対照表 (単位: 億円)

| | 2013年3月31日現在 | 2014年3月31日現在 |
|---------------|----------------|----------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 33,861 | 64,718 |
| コールローン及び買入手形 | 1,838 | 1,543 |
| 買入金銭債権 | 3,765 | 3,326 |
| 特定取引資産 | 7,871 | 6,165 |
| 金銭の信託 | 2 | 1 |
| 有価証券 | 101,815 | 86,984 |
| 貸出金 | 264,901 | 267,016 |
| 外国為替 | 677 | 727 |
| その他資産 | 8,760 | 9,347 |
| 有形固定資産 | 3,073 | 3,078 |
| 建物 | 1,033 | 1,022 |
| 土地 | 1,896 | 1,898 |
| リース資産 | 29 | 57 |
| 建設仮勘定 | 11 | 5 |
| その他の有形固定資産 | 101 | 94 |
| 無形固定資産 | 434 | 404 |
| ソフトウェア | 88 | 75 |
| リース資産 | 293 | 277 |
| その他の無形固定資産 | 52 | 51 |
| 退職給付に係る資産 | - | 245 |
| 繰延税金資産 | 1,762 | 1,289 |
| 支払承諾見返 | 5,398 | 4,905 |
| 貸倒引当金 | △ 3,055 | △ 2,561 |
| 投資損失引当金 | △ 1 | △ 1 |
| 資産の部合計 | 431,106 | 447,194 |

| | 2013年3月31日現在 | 2014年3月31日現在 |
|----------------------|----------------|----------------|
| 負債の部 | | |
| 預金 | 353,848 | 357,459 |
| 譲渡性預金 | 13,014 | 19,498 |
| コールマネー及び売渡手形 | 2,506 | 8,547 |
| 売現先勘定 | 389 | 389 |
| 債券貸借取引受入担保金 | - | 498 |
| 特定取引負債 | 3,460 | 3,055 |
| 借入金 | 6,718 | 10,817 |
| 外国為替 | 14 | 11 |
| 社債 | 7,164 | 6,964 |
| 信託勘定借 | 4,487 | 5,338 |
| その他負債 | 11,264 | 9,028 |
| 賞与引当金 | 181 | 180 |
| 退職給付引当金 | 129 | - |
| 退職給付に係る負債 | - | 269 |
| その他の引当金 | 395 | 424 |
| 繰延税金負債 | 2 | 2 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 236 | 236 |
| 支払承諾 | 5,398 | 4,905 |
| 負債の部合計 | 409,213 | 427,630 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 3,404 | 504 |
| 資本剰余金 | 2,370 | 4,092 |
| 利益剰余金 | 13,154 | 11,697 |
| 自己株式 | △ 895 | △ 858 |
| 株主資本合計 | 18,034 | 15,436 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,865 | 2,441 |
| 繰延ヘッジ損益 | 363 | 281 |
| 土地再評価差額金 | 412 | 412 |
| 為替換算調整勘定 | △ 43 | △ 40 |
| 退職給付に係る調整累計額 | - | △ 359 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,598 | 2,734 |
| 少数株主持分 | 1,260 | 1,392 |
| 純資産の部合計 | 21,893 | 19,564 |
| 負債及び純資産の部合計 | 431,106 | 447,194 |

連結損益計算書 (単位: 億円)

| | 自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日 | 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日 |
|---------------|------------------------------|------------------------------|
| 経常収益 | 8,321 | 8,269 |
| 資金運用収益 | 4,919 | 4,728 |
| (うち貸出金利息) | (4,177) | (3,925) |
| (うち有価証券利息配当金) | (558) | (546) |
| 信託報酬 | 216 | 237 |
| 役員取引等収益 | 1,819 | 1,892 |
| 特定取引収益 | 35 | 13 |
| その他業務収益 | 534 | 340 |
| その他経常収益 | 796 | 1,057 |
| 経常費用 | 5,470 | 5,147 |
| 資金調達費用 | 489 | 428 |
| (うち預金利息) | (238) | (181) |
| 役員取引等費用 | 529 | 541 |
| 特定取引費用 | 13 | 22 |
| その他業務費用 | 121 | 134 |
| 営業経費 | 3,616 | 3,484 |
| その他経常費用 | 699 | 535 |
| 経常利益 | 2,851 | 3,121 |

| | 自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日 | 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日 |
|-----------------------|------------------------------|------------------------------|
| 特別利益 | 11 | 29 |
| 固定資産処分益 | 11 | 29 |
| 特別損失 | 19 | 30 |
| 固定資産処分損 | 12 | 13 |
| 減損損失 | 6 | 16 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,843 | 3,120 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 476 | 328 |
| 法人税等調整額 | △437 | 517 |
| 法人税等合計 | 38 | 845 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,804 | 2,274 |
| 少数株主利益 | 53 | 68 |
| 当期純利益 | 2,751 | 2,206 |

連結株主資本等変動計算書 (単位: 億円)

| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|---------------------|--------|-----------|-----------|--------|-------------|------------------|-------------|------------------|--------------|----------------------|-----------------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延 ヘッジ損益 | 土地 再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に 係る調整 累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 3,404 | 2,370 | 13,154 | △895 | 18,034 | 1,865 | 363 | 412 | △43 | - | 2,598 | 1,260 | 21,893 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △463 | | △463 | | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | 2,206 | | 2,206 | | | | | | | | 2,206 |
| 自己株式の取得 | | | | △4,345 | △4,345 | | | | | | | | △4,345 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 4 | 4 | | | | | | | | 4 |
| 自己株式の消却 | | △4,377 | | 4,377 | - | | | | | | | | - |
| 利益剰余金から資本金への振替 | 3,200 | | △3,200 | | - | | | | | | | | - |
| 資本金から剰余金への振替 | △6,100 | 6,100 | | | - | | | | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | 575 | △82 | △0 | 2 | △359 | 136 | 131 | 268 |
| 当期変動額合計 | △2,900 | 1,722 | △1,456 | 37 | △2,597 | 575 | △82 | △0 | 2 | △359 | 136 | 131 | △2,328 |
| 当期末残高 | 504 | 4,092 | 11,697 | △858 | 15,436 | 2,441 | 281 | 412 | △40 | △359 | 2,734 | 1,392 | 19,564 |

財務諸表(連結)



3行の概況

※金額については単位未満を切捨て表示しております

りそな銀行

総資金量・総貸出金の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|------|----------|----------|----------|
| 総資金量 | 329,418 | 333,959 | 341,165 |
| 総貸出金 | 171,234 | 174,941 | 177,378 |

※総資金量は、預金、譲渡性預金、金銭信託、年金信託および財産形成給付信託の合算です。
※総貸出金は、銀行勘定、信託勘定の合算です。

損益の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|----------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 4,031 | 3,879 | 3,680 |
| 経費 | △2,226 | △2,202 | △2,190 |
| 実勢業務純益*1 | 1,805 | 1,676 | 1,489 |
| 与信費用 | 60 | 295 | 315 |
| 当期純利益 | 1,869 | 2,055 | 1,534 |

連結自己資本比率の推移 (国内基準)

(単位:%)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期*2 |
|-----------|----------|----------|------------|
| 自己資本額 | 16,447 | 16,811 | 15,475 |
| リスク・アセット等 | 124,075 | 124,567 | 115,724*3 |
| 自己資本比率(%) | 13.25 | 13.49 | 13.37 |

※2014年3月期の連結自己資本比率は速報値です。

近畿大阪銀行

預金・貸出金の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 33,474 | 33,218 | 33,919 |
| 貸出金 | 24,589 | 25,569 | 25,557 |

損益の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|----------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 519 | 519 | 517 |
| 経費 | △405 | △398 | △381 |
| 実勢業務純益*1 | 114 | 120 | 136 |
| 与信費用 | △61 | △59 | △32 |
| 当期純利益 | 165 | 37 | 59 |

連結自己資本比率の推移 (国内基準)

(単位:%)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期*2 |
|-----------|----------|----------|------------|
| 自己資本額 | 1,758 | 1,704 | 1,768 |
| リスク・アセット等 | 13,095 | 12,758 | 13,385 |
| 自己資本比率(%) | 13.43 | 13.35 | 13.20 |

※2014年3月期の連結自己資本比率は速報値です。

埼玉りそな銀行

預金・貸出金の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 預金(譲渡性預金を含む) | 106,425 | 110,220 | 114,449 |
| 貸出金 | 64,680 | 66,310 | 66,924 |

損益の推移 (単体)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|----------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 1,435 | 1,418 | 1,355 |
| 経費 | △756 | △754 | △754 |
| 実勢業務純益*1 | 678 | 663 | 600 |
| 与信費用 | △43 | △21 | △11 |
| 当期純利益 | 359 | 426 | 374 |

単体自己資本比率の推移 (国内基準)

(単位:%)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期*2 |
|-----------|----------|----------|------------|
| 自己資本額 | 4,396 | 4,287 | 4,355 |
| リスク・アセット等 | 35,240 | 34,409 | 32,484*3 |
| 自己資本比率(%) | 12.47 | 12.46 | 13.40 |

※2014年3月期の単体自己資本比率は速報値です。

〔ご参考〕傘下銀行(単体)の合算

合算当期純利益は、1,968億円と前期比551億円減少しましたが、前年度に実施した税効果会計に係る会社例示区分見直し影響を除くと、株式等関係損益の改善や与信費用が引続き戻入益となったこと等により増益となりました。実勢業務純益は、資金利益の減少を、金融商品販売や経費の改善等により補完しましたが、債券関係損益が減少したこと等により、前期比233億円減少し、2,226億円となりました。

損益の推移 (傘下銀行合算)

(単位:億円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 | 2014年3月期 |
|----------|----------|----------|----------|
| 業務粗利益 | 5,986 | 5,816 | 5,552 |
| 経費 | △3,388 | △3,356 | △3,326 |
| 実勢業務純益*1 | 2,597 | 2,460 | 2,226 |
| 与信費用 | △44 | 214 | 271 |
| 当期純利益 | 2,394 | 2,519 | 1,968 |

(※1) 実勢業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

(※2) 2014年3月期からパーゼル3基準により算出しております。

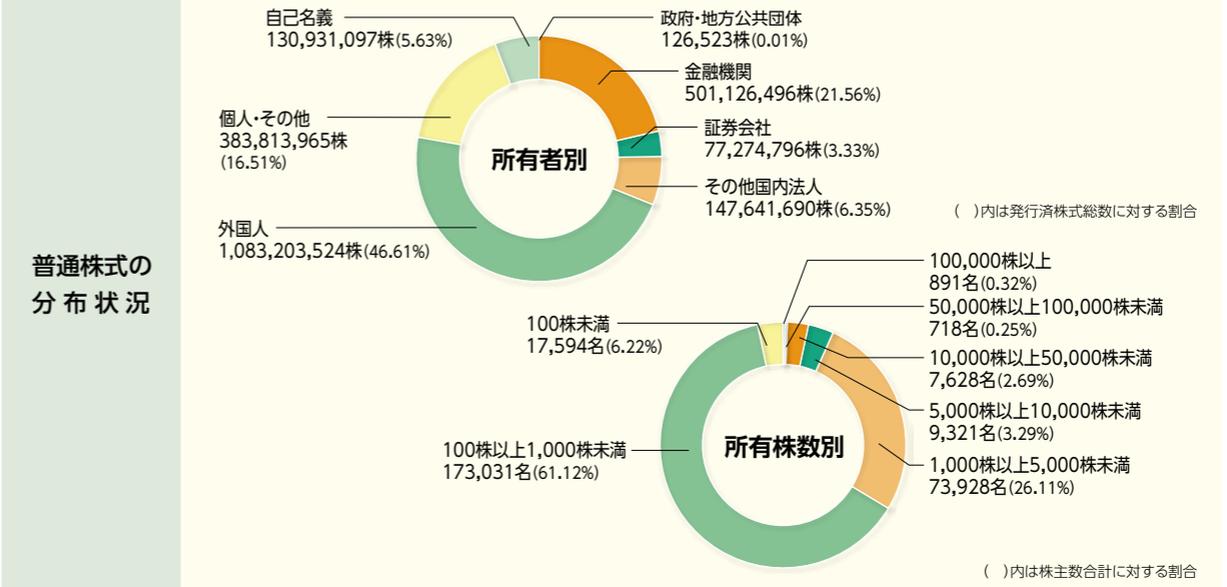
(※3) 2014年3月期から信用リスク・アセットは先進的内部価格付手法(A-IRB)により算出しております。

株式の状況

2014年3月31日現在

| | | | | |
|----------------|--|--|---------|---------|
| 発行済株式総数 | 2,451,638,091株 (うち、普通株式2,324,118,091株、優先株式 127,520,000株) | | | |
| 株主数 | 普通株式 283,111名 | | | |
| 大株主 (上位10位) | 普通株式 | 株主の氏名または名称 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
| | | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 95,265 | 4.34 |
| | | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 89,935 | 4.10 |
| | | GOLDMAN, SACHS & CO.REG | 86,570 | 3.94 |
| | | 第一生命保険株式会社 | 55,241 | 2.51 |
| | | CACEIS BANK FRANCE / CREDIT AGRICOLE SA | 39,483 | 1.80 |
| | | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225 | 32,435 | 1.47 |
| | | JP MORGAN CHASE BANK 380072 | 28,286 | 1.28 |
| | | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 26,927 | 1.22 |
| | | STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY | 26,019 | 1.18 |
| | | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY | 24,992 | 1.13 |

※自己株式を除く



3行の概況
株式の状況



◆ 株式事務のご案内

| | |
|-------------|--|
| 決 算 期 | 毎年3月31日に決算を行います。 |
| 定 時 株 主 総 会 | 基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。 |
| 配 当 金 | 基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。 |
| 公 告 方 法 | 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) http://www.resona-gr.co.jp/holdings/ir/koukoku/ |
| 単 元 株 式 数 | 単元株式数は100株です。 |

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 | | |
|--|------------------|---|---|
| ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 株主名簿管理人 | 三井住友信託銀行株式会社 | |
| | 郵便物の送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 | |
| | 電話番号 | ☎ 0120-782-031 | |
| | インターネットホームページURL | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html | |
| ●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。 | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 証券会社 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。 | |
| | 特別口座*の場合 | 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| | | 郵便物の送付先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
| | | 電話番号 | ☎ 0120-094-777 |

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

上記株主名簿管理人とは郵便物の送付先、電話番号等が異なりますのでご注意ください。

◆ 株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1. 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2. 第三者提供の制限および事前の同意なく当社子会社に情報を提供する場合について

当社は、法令で認められている場合を除いて、原則として、あらかじめ株主さまの同意を得ることなく株主さまの個人情報を第三者に提供いたしません。

ただし、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第2項に基づき、株主さまご本人の求めに応じて提供を停止することを前提として、株主さまの同意をいただくことなく、以下のとおり、株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することがあります。なお、当社子会社に対する個人情報の提供の停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

- (1) 当社が株主さまの個人情報を提供する当社子会社
 - 株式会社りそな銀行
 - 株式会社埼玉りそな銀行
 - 株式会社近畿大阪銀行
- (2) 提供する個人データの項目
 - 氏名・住所
 - 保有株式数
 - 株主番号および登録時期に関する情報
- (3) 提供する手段または方法
 - 電子媒体により交付する方法

3. 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 **03-6704-3111**(代表)
大阪 **06-6268-7400**(代表)
受付時間 9:00~17:00(銀行休業日を除く)

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡を頂いた場合には、当社にご連絡を頂いた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡を頂く必要はございません。